

令和6年度デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）及び令和7年度第2世代交付金（地方創生推進タイプ） 活用事業の実績について

1 交付金の概要

名称	デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）	第2世代交付金（地方創生推進タイプ）
概要	地方版総合戦略に基づく、地方公共団体の自主的・主体的で先導的な事業を支援するもの	地方公共団体の自主性と創意工夫に基づいた、地方創生に資する地域の独自の取組を支援
対象	先駆性のある取組及び先駆的・優良事例の横展開	同左
	・官民協働、地域間連携、政策間連携、事業推進主体の形成、中核的人材の確保・育成	
	＜具体例＞ しごと創生、観光振興、人の流れ（移住促進、地方創生人材の確保）、働き方改革（若者雇用対策、ワークライフバランスの実現等）、まちづくり（小さな拠点等）等	

○財源

国の交付金（事業費の2分の1）

○事業実施数及び交付実績額

採択事業：5事業（うち1事業は、他市町との広域連携事業）

総事業費：92,710,418円

交付実績：46,248,061円

参考

○令和7年度事業実施数

採択事業：7事業（うち1事業は広域連携事業。）

計画額：139,217,000円

交付予定：69,607,000円

○第2世代交付金 一覧

番号	事業の名称	種別	実施年度	所管課(代表)
1	「山口ゆめ回廊」観光を基軸とした交流価値共創プロジェクト ～観光交流から移住・定住へ～	<広域>	(R4-R8)	観光政策課
2	みね探求塾「挑戦のトビラ」展開による未来創生プロジェクト～未来は自分たちでつくるもの～	<単独>	(R3-R7)	学校教育課
3	美祢市健幸百寿プロジェクト	<単独>	(R3-R7)	健康増進課
4	美祢社会復帰促進センター等との連携を通じた地方創生プロジェクト	<単独>	(R5-R7)	地方創生推進室
5	ラーニングスペース設置及び関係人口創出プログラムによる地域の担い手育成推進事業	<単独>	(R6-R8)	学校教育課
6	厚保くりYAMAMORIプロジェクト	<単独>	(R7-R9)	農林課
7	デスティネーションキャンペーンを契機とした美祢市おもてなし・おみやげクリエイティブプロジェクト	<単独>	(R7-R9)	地方創生推進室

令和6年度は番号1～5の5事業、令和7年度は番号1～7の7事業を実施。

令和6年度デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)、令和7年度第二世代交付金事業効果検証について

No	事業の名称	事業実績	総事業費(円)	交付実績(円)	本事業における重要業績評価指標(KPI)	目標値	実績値	事業効果	今後の方針
1	「山口ゆめ回廊」観光を基軸とした交流価値共創プロジェクト ～観光交流から移住・定住へ～ <広域> (R4-R8) 観光政策課	【第2期圏域連携事業】 【ジオパーク説明看板設置及び拠点施設改修事業】 ○山口ゆめ回廊博覧会の開催を契機として、美祢市の新たな周遊拠点を増やすため、ジオパークサイトの説明看板を設置した。	40,404,482	20,202,241	MICE誘致件数	82	167	地方創生に非常に効果的であった	事業を継続
		【新しい生活様式や行動様式社会変化に対応した持続可能な新しい観光の創造事業】 ○山口ゆめ回廊観光推進協議会への負担金 山口ゆめ回廊圏域(7市町)において、圏域内の交流人口の拡大と周遊促進を図る事業を実施(夏休み期間の小中学生にむけたクーポン配布・リアル宝探し・食の周遊を目的としたSNSでの情報発信や7市町の食材を使ったピュッフェの開催 等)した。 ○美祢市ならではの地域の特性を活かし、サイクリングの推進やスポーツイベントを実施し、県外からの誘客と滞在時間の延長につなげた。			着地型観光プログラム造成件数	21	30	評価	本事業の今後の方針の理由
		【住んでよし、訪れてよしの観光地域づくりを通じた多様な交流創造事業】 ○市全域を巻き込んだ観光地域づくりを推進するため、DMOの活動への支援に加え、公式HPやSNS及びメディアによる情報発信を展開するため、(一社)美祢市観光協会が実施する観光プロモーション事業を支援した。			外国人観光客数	81,555	142,229	7市町において広域的な取組を実施することで、周遊促進に繋がった。	山口ゆめ回廊圏域において、市町相互の周遊や交流人口の拡大に繋がる効果的な事業が実施できている。 今後も引き続き事業を遂行するとともに、秋吉台地域ならではのアクティビティの開発等、ここでしかできない体験を提供することで、美祢市への観光客の拡大に繋げる。
		【インバウンド誘客から創出する「まちの賑わい」創出事業】 ○秋吉台地域で、洞窟×ハロウィンやシナモロールを活用したイベントを実施し、秋吉台および鍾乳洞(秋芳洞・景清洞)の魅力の発信と地域の活性化につなげた。			参考_美祢市交流人口(人)	-	1,318,334		
					参考_美祢市外国人観光客(人)	-	23,029		
実施計画と比較した現況や課題の把握			阻害要因の把握・分析・対応			次年度以降に向けた実施計画の見直し内容など (→地域の多様な主体の参画による効果検証の結果及び改善方策への反映)			
山口ゆめ回廊圏域(山口市、宇部市、萩市、防府市、美祢市、山陽小野田市、島根県津和野町)において各市町の特色を活かした連携事業が実施できており、KPIについて、すべての項目において目標値を達成している。地域間連携は実績も出ており、実施できていると言える。 個別事業としては、魅力的な地域資源の活用として、秋吉台地域の魅力を活かした事業ができていると言えるが、自立性の部分で課題が残る。			個別事業の秋吉台地域の魅力創出として、秋吉台ならではのイベントの開催を実施してきた。この地域にしかない資源を活用し、新たな客層の獲得に向け、ハロウィンに併せたイベントや美祢市とシティプロモーションを実施している「シナモロール」を活用したイベントを実施した。地域の事業者と連携し、イベントエリアを周遊するような工夫も行っており、地域の活性化に寄与しているが、イベント実施主体においても、自立的な運営は難しく、また期間も限定される。			秋吉台地域には沢山の魅力があり、この地でしかできない体験が多くある。敢えて期間を決め、イベントを実施することは、地域の魅力を十分に伝えることで、大きな誘客の武器になると考えるが、継続的な運営の部分で課題が残る。そのため、秋吉台地域ならではのアクティビティの造成に力を入れ、年間を通じて販売できるようなコンテンツにすることで、収入を得られるような仕組みづくりを行っていく。			

No	事業の名称	事業実績	総事業費(円)	交付実績(円)	本事業における重要業績評価指標(KPI)	目標値	実績値	事業効果	今後の方針
2	みね探求塾「挑戦のトピラ」展開による未来創生プロジェクト～未来は自分たちでつくるもの～ <単独> (R3-R7) 学校教育課	<p>【公設塾mineto(R3.10開塾)】</p> <p>●集団型テーマ授業「みち探求(道・未知)」 塾生の好奇心を育むための「みち探求」コースが実施した。 令和6年度は、「食べ物編」「映像編」「旅行編」「アート編」「ことば編」「金融編」などのテーマで授業を行った。</p> <p>●集団型PBL「まち探求(町・街)」 美祢市を舞台にチームでプロジェクトを実践する「まち探求」コースを実施した。 令和6年度は、「こども食堂プロジェクト」や「観光マッププロジェクト」などを企画・実施した。</p> <p>●伴走型個人プロジェクト「あい探求(愛・"I")」 塾生が独自のプロジェクトを企画・実行する「あい探求」コースが実施した。 令和6年度は、「オリジナルプロジェクト4期生」および「5期生」が運営された。</p> <p>●通塾生と地域の交流促進 塾生は「ひまわりマルシェ」や「秋芳ふれあい祭り」といった地域イベントに参加した。 また、塾生の学びや挑戦の成果を発表する「mineto SUMMIT」や大学生との交流会も開催した。(催)等)、「mineto SUMMIT」の実施、地域イベントへの参加を行った。</p> <p>●出張mineto、mineto合宿、minetoキャンプを実施。</p>	11,533,626	5,766,813	受講者数(通塾者数)(人)	60	43	地方創生に相当程度効果があった	事業を継続
					「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」に肯定的な回答をした生徒の割合(肯定率)(%)	61.0	82.2	評価	本事業の今後の方針の理由
					「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」に肯定的な回答をした生徒の割合(肯定率)(%)	63.0	75.2	目標値の一部は達成できていないが、公設塾を続けることや出張mineto等の取組により中学校の生徒全体に事業の効果が波及し、年度を追うごとに成果が表れると考えている。	引き続き事業を継続するが、事業内容の充実と公費だけに頼らない持続可能な事業設計を強化していく。
					交流した他自治体の子供たちの数(延べ数)(人)	60	161		
実施計画と比較した現況や課題の把握			阻害要因の把握・分析・対応			次年度以降に向けた実施計画の見直し内容など (→地域の多様な主体の参画による効果検証の結果及び改善方策への反映)			
在籍者数は目標に向け順調に推移し、全国規模のコンテストでのファイナリスト選出など、質の高い探究学習の成果も着実に創出されている状況。一方で、事業目標である「市内中学生の15%にあたる60名の在籍」は未達となっている。また、一部の通塾困難エリアの生徒への学びの機会提供という地理的課題も残存。			在籍者数の更なる増加には、保護者層を含めた市民への価値認知の拡大が不可欠との分析。対策として、市内全小学校での説明会や体験授業の実施により、早期からの興味喚起と理解促進を図る。また、地理的制約の克服に向け、特定の学校と直接連携し「総合的な学習の時間」を支援するなど、塾外での新たな価値提供モデルを構築。			次年度は、既存の塾内プログラムの質向上と同時に、事業の提供範囲を地理的に「広げる」方針。特に、通塾困難エリアへの対応を重点課題と定め、美東小中学校などとのカリキュラム共同開発を本格化。この学校連携を基軸としたモデルを確立し、美祢市の全ての中学生が質の高い探究学習に触れられる体制の構築を推進する。			

No	事業の名称	事業実績	総事業費(円)	交付実績(円)	本事業における重要業績評価指標(KPI)	目標値	実績値	事業効果	今後の方針
3	健康増進課	【がん教育】 ○市内の小中学校においてがん教育を実施 小学校 4校、中学校 3校	14,459,000	7,122,353	みね健康マイレージ参加者数(人)	130	146	地方創生に相当程度効果があった	事業を継続
		【疾病危険度予測システム】 ○データ収集のためのアンケートの実施 ○アンケート結果の返却による行動変容への期待			健康ウォーク参加者数(人)	130	142	評価	本事業の今後の方針の理由
		【生活・健康・福祉をDXで考える研究会】 ○本市に関する健康データの抽出 ○プロジェクト事業報告会を実施			特定健診の受診率(%)	55.0	38.3	市民の健康意識の向上のため、参加しやすい環境を整え、参加しやすいイベントを実施し、一定以上の効果があった。 小中学校向け、がん教育では、児童生徒を通じて保護者等へのがん検診啓発効果もあった。	健康意識の向上が市民の健康寿命の延伸へつながっていくため、今後も施策の継続的な実施が必要であり事業を継続していく。
		【人材の育成・デジタル人材育成経費】 ○職員を対象とした、高度人材育成研修を実施 ○学術機関による人材育成を実施			仮説検証型地域保健施策推進のための分析・施策立案に取組む高度人材(人)	3	3		
		【産官学と地域が連携した健康関連イベントの開催】 ○みね健康マイレージ、ウォーキング教室の開催 ○みね健幸測定会、みね健幸まつりの実施 ○食・栄養面からの行動変容講座の開催							
<単独> (R3-R7)									
実施計画と比較した現況や課題の把握			阻害要因の把握・分析・対応			次年度以降に向けた実施計画の見直し内容など (→地域の多様な主体の参画による効果検証の結果及び改善方策への反映)			
がん教育については、大半の市内小中学校で実施でき、年間の活動カリキュラムに採り入れてもらっているが、小学校1校のみ諸事情によりがん教育の実施に至っていない。 生活習慣アンケート回答件数が伸び悩んでいる。 健診結果データと生活習慣アンケート結果を組み合わせた疾病危険度まで示せていない。 それぞれの分析結果に基づく報告会を実施できているが、健康寿命の延伸に向けた施策提案までには至っていない。 人材育成については、今年度も山口県立大学大学院へ派遣し、無事2年間の課程を修了した。 デジタル人材育成についても、市職員を対象に研修会を開催した。 様々なイベント等で市民に対し周知を図り、多くの市民等の参加があり、一定の効果はあったと考えているが、健康寿命プロジェクトの意義が市民全体の浸透(認知)に至っていない。			がん教育未実施の小学校については、保護者にごん患者がいることから、学校側がナーバスになり受入れを拒んでおられるため、今後改めて学校に趣旨説明を行い、幼少期から正しい知識の習得と家族への波及効果によるがん検診受診率の向上を目指す。 生活習慣アンケートについては、質問項目が多く、初年度回答者が次年度以降回答されないケースがあり、アンケート回答による本人へのメリットを示す必要がある。 また、タブレット操作に不慣れな高齢者についても、回答を拒否されるケースがあり、趣旨及び操作説明しながら対応できる体制づくりを検討する。 疾病危険度予測システムについて、システム改修ができる大学職員が退職されたため、今後のシステム保守方法について検討を要する。 市民への周知については、様々な情報発信ツールの活用や各種イベント等において体験を通じてプロジェクトの意義を浸透させていきたい。			次年度以降は、自走による事業運営となることから、これまで取り組んできたがん教育、疾病危険度予測システムを活用した保健指導は、継続して実施する。 食・栄養面からの行動変容を促すことを目的に、他部署と連携した持続可能な取組みとして、農林関係部署と連携した美祢市産の食材を使用した地産地消・食育・健康イベントを実施し、市民の健康寿命延伸に向けた自発的な行動変容につなげていきたい。 また、産官学と地域が連携した健康関連イベント、健幸まつり、健幸測定会を継続して実施する。			

No	事業の名称	事業実績	総事業費(円)	交付実績(円)	本事業における重要業績評価指標(KPI)	目標値	実績値	事業効果	今後の方針
4	美祢社会復帰促進センター等との連携を通じた地方創生プロジェクト ＜単独＞ (R5-R7) 地方創生推進室	【美祢市への理解促進】 ○第2期事業への変遷期であることを踏まえ、前年度作成のパンフレット利活用に係る協議や、職業訓練等に係る美祢市の地域資源の利活用(XR科におけるメタバース空間の題材として市内事業者や大嶺炭田の炭鉱の町等を採用)を実施	16,285,532	8,142,765	セミナーに参加し、協力雇用主として登録した市内事業者数	1	0	地方創生に関するものうち、担い手不足関連への効果が乏しかった	事業を見直し
		【共生のまちづくりに係る理解促進】 ○共生のまちづくりに係るセミナーを2回実施 ○前年度作成パンフレットを活用した広報			市内事業者がセンター生に対して採用に向けた面接を実施した数	1	0	評価	本事業の今後の方針の理由
		【出所者等支援体制を中心とした共生のまちづくり推進体制の整備】 ・美祢市構想実現への事業計画の第2期事業を踏まえた見直し ・共生のまちづくり推進体制「みね・きょうせい・そうせいチーム」の設置			美祢社会復帰促進センターでの作業・職業訓練に関わる市内事業者の数	1	0	事業を通じて、市外に対する地域共生や美祢市の魅力に関するPRに関しては大きな効果を発揮したといえるが、セミナーへの新規参加者やセンター生の雇用に繋がる効果に乏しく、結果KPIの全項目が未達成となった。	KPIについて未達成であること、本事業の中核の一つであるセンター生の市内就労や定住に関して、希望者がそもそもいないという現状に鑑み、出所後のみならず、在所中からの美祢市との関与機会の増加に取り組む必要があるとともに、直接敵な定住・就労に拘泥せず、出所後に交流人口や関係人口化を経てからの市内定住等の方策も検討する必要があるため。
		【美祢市の資源を活用した商品の企画・開発】 美祢市のPRに資する企画商品「秋芳洞プレミアムフリーパス」に関するインフルエンサーを活用した販売促進及び事業広報							
実施計画と比較した現況や課題の把握			阻害要因の把握・分析・対応			次年度以降に向けた実施計画の見直し内容など (→地域の多様な主体の参画による効果検証の結果及び改善方策への反映)			
当初の実施計画通り、市内事業者への共生のまちづくりに関する理解促進や、共生のまちづくり推進体制の構築などは実行できているものの、最終目標の一つであるセンター生の出所後の市内就労等による担い手不足の解消といった具体目標に繋がる事業効果が生じていない。これは、推進体制運用が開始当初ということもあるが、美祢社会復帰促進センターと美祢市との役割分担の整理、美祢社会復帰促進センターのセンター生の実情やこれまでの各種取組への理解不足に基づくものと分析されるとともに、共生のまちづくりの取組への新規参画を誘引するきっかけの乏しさに起因することが想定される。			令和6年度においては美祢社会復帰促進センターの第2期事業への移行期であったことを踏まえても、センター生が、美祢市の企業だけでなく、居住環境や観光資源に関わる機会が乏しく、また、美祢社会復帰促進センターに関与または関心をもつ企業が固定化されており、美祢社会復帰促進センター関連企業においても、近年、新たな提供作業や外部通動作業を実施する市内企業を募集しておらず、市の事業目標との不一致が見られた。加えて、美祢社会復帰促進センターのセンター生は、社会復帰可能性が高いものを中心に入所していることから、帰住先が決まっていることも多く、そもそも出所後に直接市内就労を希望する可能性に乏しいことが推測される。以上を踏まえ、センター生の生活のしおり等に美祢市のPRパンフレットを同梱することや職業訓練や刑務作業で美祢市の各資源を活用することで、センター生が日常的に美祢市に関わる機会を増加させる。また、センター生の職業訓練等の成果等を、地場製品の販売や観光PR、シティープロモーションに積極的に活用するとともに、連携自体の広報も促進することにより、センター生の自己肯定感や社会参加意識を向上させつつ、出所後の交流人口・関係人口化を促進させる。			共生のまちづくり推進体制である「みね・きょうせい・そうせいチーム」における連携を中核にすえ、福祉以外のこれまで美祢社会復帰促進センター等との関係性に乏しかった層の関心獲得に向け連携企画(矯正展や刑務作業等における既存の連携の見直しも含む)の増加に取り組むとともに、第2期事業の開始や拘禁刑の開始を踏まえ、センター生のセンター在所中における刑務作業や職業訓練における美祢市を知る機会の増加に取組み、出所後における直接的な定住や就労による担い手不足等の地域課題の解決に拘泥せず、センター生の在所中、そして出所後の交流人口化・関係人口化につなげられるよう、これら連携企画等の情報発信強化及びセンター生及び美祢社会復帰促進センターそのものへのフィードバックを進める。			

No	事業の名称	事業実績	総事業費(円)	交付実績(円)	本事業における重要業績評価指標(KPI)	目標値	実績値	事業効果	今後の方針
5	ラーニングスペース設置及び関係人口創出プログラムによる地域の担い手育成推進事業	<p>【美祢市ラーニングスペース(R6.10開塾)】</p> <p>●探究プログラムと学習支援 塾生が課題を設定・解決する力を養う「探究プログラム」を実施しました。自習室の提供や、学力・進路に合わせた個別学習サポートも行いました。</p> <p>●デジタルスキル習得支援 課題解決に必要なデータ分析スキル習得講座を実施しました。生徒はGoogleスプレッドシートを使い、データの可視化や比較方法を学びました。</p> <p>●多様な交流イベント 「大学進学フェア」には中高生や保護者など61名が参加し、大学生らとの座談会を通じて探究活動の意義を考えました。「やまぐち若者MY PROJECT」や「拠点横断プロジェクトアクセラ」を通じて、県内外の高校生と交流し、探究活動を深めました。</p> <p>●生徒募集と広報活動 美祢市在住の高校生向けにチラシを郵送し、校内説明会を実施しました。広報誌「げんきみね」への掲載や、SNS(Facebook, Instagram)での情報発信を行いました。</p> <p>●在籍者数 令和6年12月末時点の在籍者は10名、令和7年3月末には13名に増加しました。</p>	10,027,778	5,013,889	地域へのUIターン数(人)	10	0	地方創生に相当程度効果があった	事業を継続
	市内の高校に通う高校生の市内就職率(%)				38.3	確認中	評価	本事業の今後の方針の理由	
	ラーニングスペース利用者(高校生)や大学生、若手社会人と市内事業所との交流人数(人)				120	13(301)	事業が始まったばかりであり、一部指標における実績はないが、探究活動や交流イベントを通じて内面的な成長を遂げ、地域貢献への意識を高めたことは、塾生へのアンケート結果の中で伺えた。	塾生の増加が今後の事業実績値の上昇に直結するため、今後も生徒募集と広報活動の実施が継続的に必要である。	
	関係人口コミュニティの登録者数(人)				50	107			
学校教育課									
実施計画と比較した現況や課題の把握			阻害要因の把握・分析・対応			次年度以降に向けた実施計画の見直し内容など (→地域の多様な主体の参画による効果検証の結果及び改善方策への反映)			
探究学習の実施による高い教育的価値の提供を確認。一方、事業成果を客観的に評価する指標の確立と、財源・人的資源の外部依存性に起因する、持続可能な運営体制の構築が今後の検討事項。			現行事業モデルの教育的指標の客観性の確保の難しさを認識。対策として、既存の枠組みの継続から、市の直営化、PFS/SIB等の新たな官民連携手法の導入まで、複数の選択肢を比較検討。民間活力の活用と成果創出の観点から、官民連携モデルの導入を、有力な選択肢の一つとして分析。			次年度は、持続可能な事業モデルの設計期間との位置付け。専門的知見を活用し、客観的な成果指標を開発。並行して、多様な民間事業者や金融機関との対話を通じ、本市に最適な官民連携のあり方を模索の上、次期事業計画の策定を推進。			

No	事業の名称	事業実績	総事業費(円)	交付実績(円)	本事業における重要業績評価指標(KPI)	目標値(R7)	実績値	事業効果	今後の方針
6	厚保くり YAMAMORI プロジェクト <単独> (R7-R9) 農林課		31,298,000		厚保くり販売金額	34,212千円		評価	事業を継続
					厚保くり生産部会の新規加入者数	2人			本事業の今後の方針の理由
					くりの新規加工商品売上高	0円			実施計画に基づき、引き続き事業を継続する予定であるため
					スマート農業導入による農作業削減率(除草、防除、収穫。10aあたり)	10%			
実施計画と比較した現況や課題の把握		障害要因の把握・分析・対応			次年度以降に向けた実施計画の見直し内容など (→地域の多様な主体の参画による効果検証の結果及び改善方策への反映)				
					2年度目の取組として、初年度の取組時に生じた生産量の増大の障害要因を把握、改善を行う。また、生産者を対象としたスマート農業技術導入の助成や初年度にて把握した市場マーケティング調査を基に県内外における生産者所得の向上を目的に厚保くりのブランドの確立と形成を訴えるツール(過去の産地の歴史や成分分析結果を記載したパンフレット、動画制作等)を作成する。また、事業終了後の活動を継続するために地域リーダーの発掘と組織組成の検討啓発を並行して行う。販路開拓については山口県で行われる誘客イベントを機会としたバイヤーとの商談を試みる。				

No	事業の名称	事業実績	総事業費(円)	交付実績(円)	本事業における重要業績評価指標(KPI)	目標値(R7)	実績値	事業効果	今後の方針
7	デスティネーションキャンペーンを契機とした美祢市おもてなし・おみやげクリエイティブプロジェクト <単独> (R7-R9) 地方創生推進室		6,600,000		新規の土産商品売上高	2,000千円			事業を継続
					市外・県外での新規販路開拓数	1件		評価	本事業の今後の方針の理由
					来訪者意識・動態調査におけるお土産商品の満足度評価	48.3%			実施計画に基づき、引き続き事業を継続する予定であるため
実施計画と比較した現況や課題の把握		阻害要因の把握・分析・対応			次年度以降に向けた実施計画の見直し内容など (→地域の多様な主体の参画による効果検証の結果及び改善方策への反映)				
					前年度に開発した商品をDC(デスティネーションキャンペーン)が本格的に始まる9月に向けて、購買確率を上げるためのメディアやSNSを通じた情報発信を行い露出の増加をはかりながら、前年のイベント販売時のマーケティングに基づいて商品のブラッシュアップを行い売上の拡大をはかる。 ※デスティネーションキャンペーン(DC)とは:自治体とJRグループが地域一体となって観光を盛り上げる国内最大級の大型観光キャンペーン。				
合計(R6 交付実績)				46,248,061					


備考

【事業効果の判断基準】

地方創生に非常に効果的であった	全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
地方創生に相当程度効果があった	一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
地方創生に効果があった	KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
地方創生に対して効果がなかった	KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合

【今後の方針】

事業を継続	計画通りに事業を継続する(または、概ね同内容で継続する)
事業を発展	事業が効果的であったことから取組を更に発展させる
事業の改善	事業の効果が見込みを下回ったことから見直し(改善)を行う(または、行った)
事業の縮小	事業を縮小する
事業の中止	継続的な事業実施を予定していたが中止する(または、した)
事業の終了	当初予定通り事業を終了する(または、した)

申請者	山口県美祢市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	60,683千円（11,599千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	未来を生き抜く力を育む公設塾を設置・運営、及びアウトリーチを実施する ・地域の方々に協力のもと、地域全体で挑戦できる子供を育む枠組みを構築する ・慶應義塾大学との連携協定を生かして、多様な価値観に触れる機会を作る ・教育環境の充実や本市の魅力向上を図り、将来的に子育て世代の移住・定住者の促進につなげていく		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 「好奇心と挑戦する力を育てる教育」を充実したものにするため、公設塾minetoの運営、出張mineto、mineto合宿イベント、mineto子どもキャンプの4本柱でmineto教育改革プロジェクトを実施する。 【主な経費】 ○公設塾minetoの運営 ・公設塾運営委託費（委託料）5,660千円 ・施設運営に係る経費（需用費、役務費、使用料及び賃借料）1,527千円 ・講師招聘に係る経費（報償費、旅費）799千円 ○出張minetoに係る経費 ・出張minetoに係る経費（委託料）500千円 ○mineto子どもキャンプに係る経費 ・mineto子どもキャンプ開催経費（委託料）3,113千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①受講者数（通塾者数）（+100人） ②「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」に肯定的な回答をした生徒の割合（肯定率）（+4%） ③「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」に肯定的な回答をした生徒の割合（肯定率）（+4%） ④交流した他自治体の子供たちの数（延べ数）（+70人）		関連URL https://www2.city.mine.lg.jp/kosodate_kyoiku/mineto/index.html https://www2.city.mine.lg.jp/sosohiki/somubu/gyoseikeiei/shingikai/sogokeikaku/11673.html

事業概要【美祢市健康百寿プロジェクト】

推進当初

申請者	山口県美祢市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	90,098千円 (16,166千円)
事業タイプ	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野

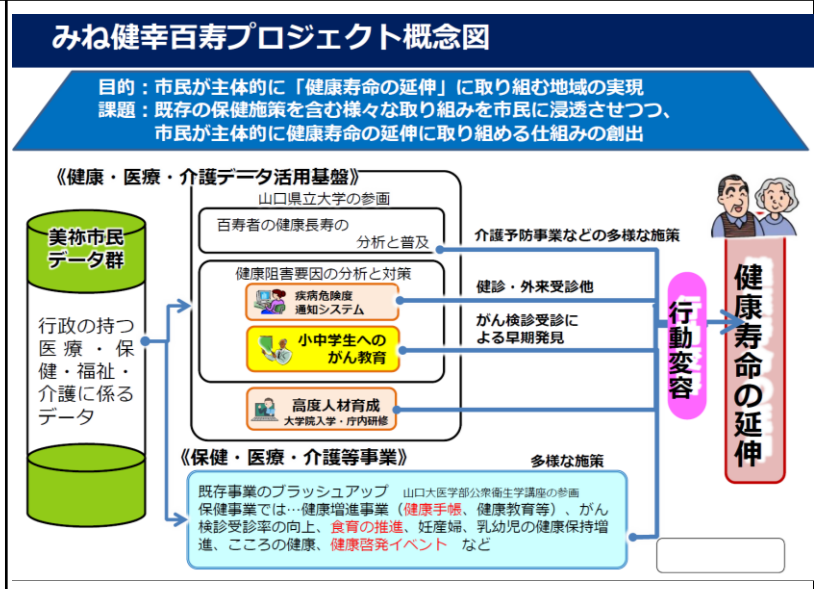
目的（効果）

- ・市民が主体的に「健康寿命の延伸」に取り組める仕組みの創出
- ・産官学が連携した住民参加型の施策として美祢市の健康・医療・介護等のビッグデータを活用した仮説検証型地域保健施策を通し、健康長寿のまちづくりによる地域活性化を目指す

整備内容・利活用方策

※経費内訳はR7年度事業費

- がん教育
 - ・市内小中学校でのがん教育による予防啓蒙活動（委託料）165千円
 - ・企業・団体・地域向けのがん教育実施による予防啓蒙活動（委託料）300千円
- 疾病危険度予測システム
 - ・集計・解析システムの機能拡張、保守に要する経費 システム保守業務（委託料）174千円
 - ・アンケートシステムバージョンアップ改修業務（委託料）1,000千円
 - ・タブレット用アンチウィルスソフト（需用費）103千円
- 生活・健康・福祉をDXで考える研究会
 - ・地域健康課題の解決策をエビデンスに基づき立案する医学研究会に要する経費（報償費）400千円（旅費）120千円（ライセンス使用料）66千円
 - ・地域住民の医療・介護に関するデータ抽出に要する経費（手数料）138千円
 - ・健康寿命阻害要因及び健康寿命延伸要因の分析結果に基づく予防保健施策の展開（委託料）4,631千円
 - ・データ（KDB、DPC等）に基づく仮説検証型地域保健課題解決実践研修業務（委託料）2,000千円
 - ・医学生参加型の特定健診・がん検診受診率向上対策業務（委託料）1,000千円
- 人材の育成【デジタル人材育成経費】
 - ・行政のDX推進を加速化させることによる生産性向上講座に要する経費（委託料）5,000千円
- 産官学と地域が連携した健康関連イベントの開催
 - ・健康食生活への行動変容促進講座（委託料）169千円（需用費）44千円（旅費）6千円
 - ・健康教育、運動イベント開催事務経費（需用費）176千円（役務費）10千円
 - ・講師招聘経費（報償費）54千円（旅費）10千円
 - ・産官学と地域が連携した健康意識啓発イベント（委託料）450千円（報償費）100千円（需用費）50千円



KPI

※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値

- ①みね健康マイレージ参加者数 (+130人)
- ②健康ウォーク参加者数 (+82人)
- ③特定検診の受診率 (+25%)
- ④仮説検証型地域保健施策推進のための分析・施策立案に取り組む高度人材 (+3人)

関連URL

<https://www2.city.mine.lg.jp/soshiki/somubu/gyoseikeiei/shingikai/sogok-eikaku/11673.html>


事業概要【美祢社会復帰促進センター等との連携を通じた地方創生プロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	山口県美祢市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	75,243千円 (26,799千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	<p>・美祢社会復帰促進センター及びセンター生を本市の資源として捉えた上で、復帰センター出所者への人材再生支援による担い手不足の解消に加え、各種課題も解決できる取組を、復帰センターとの連携を通して様々な関係者と連携しながら、総合的に実施</p> <p>・誰一人取り残さない社会の実現に寄与しつつ本市が目指す共生のまちづくりの実現を目指すとともに、持続的な地方創生・地域活性化を図る</p>		
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR7年度事業費</p>	<p>○美祢市への理解促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・センター生への具体的説明に係る市内事業者対応謝礼（報償費）100千円 <p>○共生のまちづくりに係る理解促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内事業所等へのセミナー開催費用（委託費）2,000千円 ○出所者等支援体制を中心とした共生のまちづくり推進体制の運営 ・出所者等支援体制を中心とした共生のまちづくり推進体制運営支援（委託費）11,999千円 ・出所者等支援体制の運営に係る委託費用（委託費）5,000千円 <p>○美祢市の資源を活用した商品の企画・開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美祢市の資源を活用した商品の企画・開発業務費用（委託費）7,700千円 		
KPI	<p>①セミナーに参加し、協力雇用主として登録した市内事業者数（+6社）</p> <p>②市内事業者がセンター生に対して採用に向けた面接を実施した数（+16件）</p> <p>③美祢社会復帰促進センターでの作業・職業訓練に関わる市内事業者の数（+3社）</p>	<p>関連URL</p>	<p>https://www2.city.mine.lg.jp/sos/hiki/somubu/chihouseusei/kyouseiseusei/index.html</p>



事業概要【ラーニングスペース設置及び関係人口創出プログラムによる地域の担い手育成推進事業】


申請者	山口県美祢市				初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	46,430千円 (16,130千円)
経費の種類	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフ 整備事業	事業分野 農林水産分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の課題解決を推進する若年層を中心とした地域の担い手を育成すること ・ラーニングスペースの創出を通じた、市内からの担い手確保の促進を図る ・関係人口コミュニティの構築や地域留学プログラムを実施することで、市外からの担い手確保の促進を図る ・結果、美祢市に残り続けたい/戻ってきたい人の流れを創出し、主課題である若年層の人口流出抑制を図る 					
事業概要・ 主な経費	<p>■ラーニングスペース運営委託費 13,130千円</p> <p>(1) 探究プログラムのためのスキル習得授業 11,970千円</p> <p>課題設定スキルの習得と実践 (ロジカルシンキング・コミュニケーションスキル・プロジェクトベースドラーニング)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタルスキル(Pythonの基礎と活用) ・キャリア開発(地元企業と連携したミニインターンシッププログラム) ・マーケティング実践研修開発費(OpenAIなどのAI分析ツール、データ解析、RESASなど) <p>(2) 学習サポート 1,000千円</p> <p>自ら課題を発見し、解決するサイクルを回すセルフマネジメント力を身につけるよう運営スタッフがグループ評価ツールを用いて一人一人に伴走支援する。</p> <p>(3) 交流イベント 160千円</p> <p>関係人口コミュニティのネットワークを生かし多様な価値観に触れるイベントを企画・実施する。</p> <p>■地域留学プログラム開発/実行委託費：3,000千円</p>					
地域の多様な 主体の参画	<p>地元企業とは生徒向けのインターンシッププログラムの実施や、地域課題をテーマとした探究学習において連携する。教育委員会及び市内高校とは、ラーニングスペースの利用促進やキャリア教育プログラムの連携を図る。また、地域留学プログラムを通じて市外の大学生や若手社会人と連携し、関係人口コミュニティを形成することで、地域の課題解決や魅力発信に共に取り組む。運営の一部は地域おこし協力隊が担い、地域とのハブ機能を強化する。</p>				<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①地域へのUIターン数 (+10人) ②市内の高校に通う高校生の市内就職率 (+24%) ③ラーニングスペース利用者(高校生)や大学生、若手社会人と市内事業所との交流人数 (+120人) ④関係人口コミュニティの登録者数 (+50人)

※経費内訳はR7年度事業費

事業概要【厚保くりYAMAMORIプロジェクト】

申請者	山口県美祢市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	94,607千円 (31,298千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	農林水産分野
目的・効果	<p>特産品である「厚保くり」について、スマート農業導入による作業合理化・省力栽培、人材確保等による生産性の向上による生産供給体制の確保、農業従事者の事業継続・事業承継の取組、高付加価値の加工品の創出に取り組み、市場価値を向上させることより、「厚保くり」の産出額増加を目指し、地域の稼ぐ力を向上させる。</p>						
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR7年度事業費</p>	<p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○持続的な生産量の確保支援事業 ・スマート農業技術の実証実験（委託料）：5,328千円 ・組織の事業計画策定業務、実証実験時の支援業務、現地調査業務（委託料）：2,729千円 ・協議会が行う厚保くり農作業ワークショップ費用に対する補助（補助金）：5,466千円 ・協議会が選定した実証実験を行う圃場に対する鳥獣被害対策や土壌分析や土壌改良等の整備費用に対する補助（補助金）：5,853千円 ○生産者所得向上支援事業 ・市場調査、ブランディング事業及び販路開拓支援業務の委託（委託料）：3,520千円 ・鳥獣被害対策の専門家への報償費及び旅費：123千円 ○加工商品開発支援事業 ・パッケージ商品開発業務の委託（委託料）：990千円 ・厚保くりを加工した県内事業者向けの試食会の開催業務委託：1,080千円 ○協議会運営事業 ・協議会運営支援業務の委託（委託料）：2,570千円 						
地域の多様な 主体の参画	<p>厚保くり生産部会はJA山口県の関連団体であり、厚保くりの栽培をする農家のとりまとめ。実際に農業を行う農家の方々の意見等を集約し、事業推進について助言を行う。</p> <p>くり農家はくりの生産及び管理主体となり、スマート農業等を活用したくりの生産自体を担うとともに、実装に向けた事業のモデル化や農家所得の向上に向けた助言等を行う。</p>					<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>①厚保くり販売金額（+15,000千円）</p> <p>②厚保くり生産部会の新規加入者数（+6人）</p> <p>③くりの新規加工商品売上高（+7,000千円）</p> <p>④スマート農業導入による農作業削減率（除草、防除、収穫。10aあたり）（+30時間）</p>

事業概要【デスティネーションキャンペーンを契機とした美祢市おもてなし・おみやげクリエイティブプロジェクト】

申請者	山口県美祢市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	16,100千円 (6,600千円)
経費の種類	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフラ 整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域リーダー育成と異業種交流により、六次産業化・観光振興基盤を強化し、持続可能な地域発展を推進する。 ・マーケティング戦略と特産品開発、販路拡大・プロモーションを通じ地域ブランド価値を飛躍的に向上させる。 						
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 2026年に開催されるデスティネーションキャンペーン（以下、「DC」という。）に伴い、山口県を訪問される観光客をターゲットとした本市に由来するおみやげ商品を開発するために、販売意欲のある事業者を募る</p> <p>【ソフト事業経費】 ODCおみやげ商品開発支援事業 ・おみやげ商品を開発する際に必要な専門家やデザイナーへの業務委託経費及びイベント販売を行うためのイベント販売の業務を委託する経費（委託料）： 6,600千円</p>						
地域の多様な 主体の参画	<p>美祢市商工会は市と連携して販売意欲のある事業者の募集から選定まで行う。選定後は事業者の支援を行う。 西日本旅客鉄道株式会社はDCにおいては広告宣伝や送客を担い、美祢市の交通結節点から観光地への誘客を行う。DCと関連した本事業へ商品開発から販路開拓、プロモーションまで一気通貫の支援。</p>					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①新規の土産商品売上高（+47,000千円） ②市外・県外での新規販路開拓数（+10件） ③来訪者意識・動態調査におけるお土産品の満足度評価（+5%）